

シスコ サービスが選ばれる理由

POINT 1

豊富な経験とノウハウ

シスコ自身がシスコのスマートデバイス ソリューションを活用し、ワークスタイルの変革を実践し、多様なワークスタイルへの対応、ビジネスの効率化、ワークライフバランスへの寄与、イノベーションの促進などのノウハウを蓄積しています。また、多種多様な業種でや培われた豊富な成功事例を生かし、お客様の課題を適切に解決、サポートします。

POINT 2

ワンストップサービス

コンサルティング、セキュリティ、ワイヤレスネットワークの構築、コラボレーションツールの導入など幅広く、スマートデバイス ソリューションに必要なサービスをワンストップで提供します。さらに、ITライフサイクルの各フェーズ（計画、構築、運用）にもとづいて、それぞれのお客様の環境に合わせて、総合的にサポートします。

POINT 3

世界最大級規模のセキュリティ研究機関

世界最大級規模のセキュリティ研究機関「Cisco Security Intelligence Operations (SIO)」を所有しています。SIOでは、約100万台のセキュリティセンターが全インターネットのEメールとウェブ トラフィックの30%以上をモニタリングし、リアルタイムに分析し、防御手段を提供しています。SIOが蓄積しているデータはソリューションに生かされ、お客様のセキュリティ対策に貢献しています。

シスコ サービスに関する詳細は、

<http://www.cisco.com/web/JP/services/index.html> をご覧ください。



Cisco Services

Smart Device Solution Services スマートデバイス ソリューション



シスコシステムズ合同会社

お問い合わせ

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>
 お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
 0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)
 電話受付時間：平日10:00~12:00、13:00~17:00
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

©2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「Partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R) この資料の記載内容は 2012年11月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。

0864-1211-01A-PP

スマートデバイスの活用とセキュリティの共存によるワークスタイル革命

スマートデバイスの活用とセキュリティの共存によるワークスタイル革命

「誰でも」「どこでも」「いつでも」「何でも」セキュアな環境に接続できる世界を。

スマートデバイスの活用は、ワークスタイルに大きな変化をもたらします。それによって、コラボレーションの促進や事業継続性を向上させ、ビジネス成長やコストの最適化に大きく貢献します。

スマートデバイスソリューションによって働き方に革命を起こすには、業務に即したスマートデバイス活用方法とセキュアで信頼の高い環境構築の双方を満たすことが重要です。

「誰でも」「どこでも」「いつでも」「何でも」セキュアな環境に接続できる世界を実現するインフラの基盤が不可欠となります。



スマートデバイスの活用とセキュアな環境の構築・維持を同時に実現するシスコ マルチ デバイス ソリューション

スマートデバイスの活用によってビジネス パフォーマンスを向上させ（攻め）、リスクが最大限マネジメントされた環境（守り）の両面を考慮したスマートデバイス ソリューションが必要です。

シスコはITライフサイクルにもとづき、「計画」、「構築」、「運用」という各フェーズごとに、IT戦略策定からITプラットフォームの最適化・オペレーションマネジメントまで、包括的にサポートします。

スマートデバイス活用のための攻め

ユースケースの策定支援サービス

ワークスタイル変革のTo-Beモデルおよび効果/指標 (KPI) を定義

ワークスタイルの改革支援サービス

デバイスの利用シーンと機能の掛け算から利活用モデルを策定

ロードマップ作成支援サービス

中期的なデバイス利用のフェーズ設定とプロジェクトプランの策定

セキュアな環境のための守り

セキュリティ ポリシー策定支援サービス

ビジネスゴールや要件を明確にし、将来的なセキュリティのTo-Beモデルを考慮したポリシーの策定支援

ワイヤレス ネットワーク アセスメント サービス

要件定義の分析、既存のワイヤレスネットワーク環境のレビュー、現状のギャップ分析を実施

現状分析：ギャップ分析サービス

ユーザーの業務/利用シーンとデバイス機能との適合性を検証

セキュアな環境のための守り

モバイルセキュリティ導入支援サービス

ISE、TrustSec、802.1Xなどの製品・技術を実装し、端末・ユーザー認証や接続環境に応じたセキュリティ環境の導入支援

ワイヤレス ネットワーク設計・構築支援サービス

安全かつモビリティ性に富んだ環境実現にむけ、詳細設計から構築・導入に至るまで総合的に支援



スマートデバイス活用のための攻め

利活用ガイド/定着化支援サービス

デバイスを用いた新業務の定着に向けた施策の定義/実行支援

課題発見アセスメントサービス

デバイス利活用による効果創出に向けた阻害要因の抽出

セキュアな環境のための守り

セキュリティ最適化サービス

聞き取り調査、セキュリティ ポリシー・ネットワーク トポロジ・パラメータ ファイルの分析、脆弱性検査などを組合せ、定期的にセキュリティ対策状態の確認を行い、必要な対策の順位付けと対策案を提示

ワイヤレス ネットワーク最適化サービス

ワイヤレス ネットワークの設計レビューやコンサルテーション、セキュリティアセスメントなどを継続的に実施

製品テクニカル サポート サービス

遠隔技術サポート、代替パーツの発送、システム ソフトウェアの最新版や各種情報の提供などのテクニカル サポートを提供

スマートデバイス ソリューションのポイントと課題

スマートデバイス活用やセキュアな環境の構築・維持において、このような状況や課題を抱えていませんか。

スマートデバイス使用を禁止しているが、事実上黙認している形になっている。

とりえず導入したものの必要な情報にアクセスできず。

電子化したものの紙より不便に。

運用の効果をどう測定すればいいのか。

より効果的にスマートデバイスを活用する方法を模索している。

デバイスにデータを残さず運用できるのか。

現行のセキュリティポリシーとの整合性がとれない。

デバイスの管理や運用はどうすればいいのか。

効率的なワイヤレス ネットワーク環境を構築するには。

利便性を保ちながら、セキュリティレベルの高いデバイス認証は可能なのか。

スマートデバイス活用に関する項目（攻め）とセキュアな環境を構築・維持するための事項（守り）の両側面を抑えることが、スマートデバイス ソリューションを成功させる要です。